

平成 22 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 東 洋 合 成 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 村 正 輝
 (J A S D A Q コード番号 4970)
 問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 経 営 企 画 部 長 川 村 繁 夫
 電 話 番 号 0 4 7 - 3 2 7 - 8 0 8 0 (代 表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 8 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 平成 22 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,800	△1,320	△1,520	△1,620
今回発表予想 (B)	12,500	△1,000	△1,200	△1,350
増減額 (B-A)	700	320	320	270
増減率 (%)	5.9	—	—	—

(平成 22 年 3 月期第 1 四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、前期実績につきましては記載しておりません)

(2) 平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,800	△1,300	△1,500	△1,600
今回発表予想 (B)	12,500	△950	△1,150	△1,300
増減額 (B-A)	700	350	350	300
増減率 (%)	5.9	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	12,200	△673	△892	△964

(3) 修正の理由

当期業績につきましては、主力の感光性材料の需要が増加していること、化成品事業につきましても世界経済の回復を反映し需要環境が堅調に推移していることから、売上高は前回予想を上回る見込みです。

また、損益面におきましても年度前半の生産量減少の影響はあるものの、売上高の増加および前期より実施しておりますコストダウン施策等により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも、前回予想値を上回る見通しです。

以 上

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって記載の予想と異なる結果となる可能性があります。